

2023 年度(令和 5 年度) 第4回 生産技術委員会 議事録

I. 日 時 令和 5 年 9 月 8 日 (金) 午後 3 時から 5 時まで

II. 場 所 木住協 6 階会議室及び ZOOM 開催

III. 出席者(敬称略、順不同、※印は ZOOM 出席)、アンダーラインは欠席者

(委員出席：19 名＋委任状 11 名＋オブザーバー 2 名＋事務局 2 名)

主 査:※秋山 哲一(東洋大学名誉教授)、

委員長:秋本 正人(住友林業株)、副委員長:※佐藤 和男(ミサワホーム MJ 株)、中藤 栄顕(ポラテック株)、

委員:※瀧澤哲也(住友林業株)、谷口哲哉(株日本ハウスホールディングス)、※楡井洋(古河林業株)

北崎 直行(株 AQ Group)、※杉山 勝也(ポラテック株)、馬場 久尋(住友林業株)

高橋 明久(タカノホーム株)、堀口 晃(ポラテック株)、渡邊 邦夫(サーラ住宅株)、

松田 浩司(ニチハ株)、遠藤 龍司(BX カネシン株)、澁谷 佑介(YKK AP 株)、

※池田昌彦(旭ファイバーグラス株)、落合貴志(株小田急ハウジング)、熊谷 淳一(住友林業ホームテック株)、

伊藤 康博(株 AQ Group)、※内山 岳彦(株 エー・エス・ディ)、※貫戸 雄貴(株 タナカ)、

※池田 啓輔(ミサワホーム株)、吉川 誠二(株ハウゼコ)、松本 明美(松本設計ホールディングス株)、

※小寺 努(エスケー化研株)、鎌田 広道(株アールシーゴ)、※工藤 俊美(近藤建設株)、

折笠 定勝(株 エー・エス・ディ)、※佐々木 直史(株 LIXIL)、清田 耕平(株 エヌ・シー・エヌ)、

氏居 亮平(新進建設株)、小川 泰史(株細田工務店)、原口 誠(住友林業株)、後上 知之(株カナイ)、

青木 杏子(株ユニバーサルホーム)、※市川 真(ナイス株)、今倉 秀樹(株ジャパンホームシールド株)

※高橋 英教(株一条工務店)、北村 忠男(株日本住環境株)、河合 宏(株ファイブアイズホーム)、

※市川 伸展(代理:野本) (ヤマト住建株)

オブザーバー:武永 祐嗣(株プラネックス)、川内 一毅(株プラネックス)、

逆瀬川 博(株住宅審査補償事業)、佐々木 徹(株住宅保証機構株)、

浜本 和明(株福井コンピュータアーキテクト株)、小山義幸・※高島雅人(株アンドパッド)

事務局:小田嶋良一、松澤ひろ美

【講演】

■「リフォームにおけるリモート検査と当社のリモート瑕疵保険について」

(株)ハウスジーマン 執行役員 保険管理部長 江間 隆太 様

- ・(熊谷)電波の状況が悪いところはどうするか。
- ・(秋山)今回の検査では、計測することはないのでしょうか。補助者は一定の資格が必要なのか。
リモート検査の要件はあるか。
- ・(江間)電波が飛んでないところは出来ない。リフォームの完了検査は、計測が無いので、承認取りやすかった。簡単な計測程度は可能と考えている。初めての会社には導入が難しい。ある程度の信頼関係は必要。瑕疵保険は、品質を見ている訳ではない。完了が確認できれば良い。
- ・(佐藤)目視検査が主となる事は分かったが、手すり等ではぐらつき等のチェックでは、触診しないと分からないのではないか。
- ・(江間)目視検査が原則となる。手すりのぐらつきで瑕疵保険の請求まで行かない。

【報告・議事事項】

1. 前回議事録の確認

(資料2)

- ・内容の修正なし。

2. 各WG進捗報告(建設副産物・安全衛生CS・リフォーム・生産管理・合否)

(資料3-1～4)

【建設副産物 WG】

・・・(馬場リーダー)

- ・石綿関連の動画を作成中。やるべき13項目の内、④⑤⑥で1本、⑦⑧⑨の項目で1本、それぞれ10分程度にまとめたものを作成した。年内にはさらに2本作成する予定。
- ・来月の1日から着工する現場から、有資格者での調査が必須となる。今回の追加動画は近々、HPにアップする。

【安全衛生・CS WG】

・・・(瀧澤リーダー)

- ・セミナーの動画視聴回数は、今まで通りの視聴回数がある。会員限定の動画は見られていない。
- ・一人親方安全衛生教育は、今年度も実施されている。お試して聴講してみて、有益そうなら、木住協での開催を検討する。
- ・個人事業者に対しても、安全対策を考慮して法改正を検討中。具体的な改正点が見えてきたら報告する。
- ・現場で発生する顧客の不安要素と防止策については、年内に形が示せそう。

【リフォーム WG】

・・・(池田リーダー)

- ・既存住宅状況調査技術者講習について、例年よりも合格率が落ちている。救済策を検討している。
- ・スムストックの委員会の資料を共有した。
- ・リフォーム版の施工管理チェックポイントマニュアルについて、ブラッシュアップしている。小WGで議論して完成を目指す。

【生産管理 WG】

・・・(小田嶋)

- ・CCUSの登録状況について、資料共有する。
- ・インボイスの開始に伴い、下請けに負担を押し付けることが無いよう、国交省でも問題があれば報告してほしいと依頼があった。
- ・一人親方向けのアンケートを実施することとなる。
- ・元請け下請間の適正取引における自主行動計画が示され、さらに徹底するよう徹底プランが示された。
- ・遠隔巡視について、建災防からヒアリング要請があり、WGに参加の会社で協力を頂けることになった。
- ・生産現場の課題についても、このWGを活用し、情報集めて、規制緩和提言につなげてゆく。

3. CCUS運営協議会 運営会議 議事報告

(資料4-1～5)

- ・住団連の「技能者問題委員会」にて配布された資料の共有。少しずつ登録数は増加しているが、CCUSの活用は進んでいない。大工職の登録はあまり増えていない。就業履歴の蓄積、レベル判定の活用も進んでいない実績。

4. CCUSの取組みについて(国交省)

(資料5)

- ・ハウスメーカー系の完工高10億未満の会社(115845社)の登録率は、36%で最も低い。
- ・経歴証明の登録の期限は5年間延長された。経歴証明に記載できるのは、2024.3.31までの履歴のみ。
- ・CCUSの導入の促進のため、カードリーダーが安く提供されたり、ログイン機能をつけたものを開発している。スマホで電話かけるだけで入退場履歴が登録出来るアプリなども開発している。

・団体向けの補助金も設けているが、木住協では使えない。

5. 遠隔巡視に関するヒアリング協力依頼について(建災防) (資料6-1、2)

・生産管理WGでお願いして、3社に協力して頂けることとなった。資料説明は省略。

6. 一人親方の適正な働き方説明会について(国交省) (資料7)

・説明会を開催するので、協力会社へ周知をお願いします。

7. 石綿調査者講習費用の補助について(東京都環境局) (資料8)

・東京都の補助金で講習会が安く受けられる。関係者へ周知依頼。

8. Degi田(デジでん)甲子園2023について(内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局) (資料9)

・デジタル活用の事例について、コンテストを実施中。

9. 生産技術研修見学会in広島について (資料10-1、2)

・参加者の人数を来週中に確定して、参加券を準備します。返信をしていない委員様は、ご連絡をお願いします。今回は、支部活用の一環として、中部支部・四国支部の会社様にも呼び掛けている。

その他フリーコメント (4月度委員会ではNO.18の委員様まで実施)

- ・(秋山) 工事監理の木造版の手引きが発刊され、その手引きでは設計・施工分離で、さらに設計者と工事監理者についても別人格とした設定で作成されている。設計・施工一貫で設計、施工を行っているのが一般的な木住協の会員企業では、どのように理解したらよいのか、追加の解説が必要ではないか。それを踏まえて、木住協版の工事監理ガイドラインの解説を示すことは重要ではないか。すでに木住協会員内で普及している施工管理チェックポイントマニュアルで記録している内容と工事監理で期待されている内容とは、どこが一緒でどこが違うのか。また、施工管理段階で実施されていると思われる社内検査部門の検査員の検査内容と工事監理責任として取り上げられる内容とはどこが一緒でどこが違うのか。整理して木住協の指針を示せたら良いのではないか。
- ・(内山) 講習会は受講できていない。設計施工一貫の中で、視点を変えてみることは戸建住宅の工事監理・施工管理の中で整理しておくことは必要なこと。木住協版を示すことは意義がある。
- ・(佐藤) 木住協会員の場合、設計者・工事監理者・施工管理者が一体となっているので、それぞれの立ち位置を明確にすることが必要。事件事故が起こるたびに工事監理者の責任が問題となる。木住協がこうあるべきだと示すことが必要と考えている。
- ・(秋山) 4号特例がなくなり、設計図書の扱いも変わるので、その辺のことを取り組むことが必要となる。

以上

【次回 令和5年度第5回生産技術委員会・WG】

- ・生産技術委員会 令和5年10月13日(金) 15:00~17:00 (木住協 会議室)
- ・リフォームWG 令和5年10月12日(木) 10:30~12:00 (木住協 会議室)
- ・生産管理WG 令和5年10月13日(金) 13:00~14:30 (木住協 会議室)
- ・建設副産物WG 令和5年11月6日(月) 13:00~15:00 (木住協 会議室)
- ・安全衛生CSWG(臨時) 令和5年10月10日(火) 14:00~17:00 (木住協 会議室)
- ・合否委員会(9月の講習合否等): 令和5年9月下旬(書面開催予定)